

## 目標達成計画

作成日：平成 24年 10月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居時に終末期ケアについて家族の方と話しているが、その後は終末期ケアについて話をしていない家族が多い為、緊急時又は終末期に直面した時、スムーズな対応が取れない恐れがある。	終末期ケアについて、職員と家族が意見を共有できるようにする。また、緊急時の対応なども事前に家族から意見を聞くことにより、スムーズな対応が出来るようにする。	「緊急時の事前確認書」を作成し、家族が面会時にそれをもとに終末期ケア又は、緊急時の対応に付いて話し合い、意見を共有する。	3ヶ月
2	35	年2回消防訓練を行っているが、地域住民と一緒に避難訓練を行うことが出来ていない。また、当施設の周辺には、工場や畑が多く、近隣住民は、ご高齢の方が多く、なかなか協力を得るのは難しい。	非難は出来たとしても、入居者は認知症の為、避難待機することが難しい為、近隣住民の方々に見守っていただけるような取り組みを図る。	地域の防災訓練などに職員が参加し、地域の方々と交流を図る。火災が発生した場合など、どのように近隣住民に知らせるかなど、運営推進会議等で話し合いを持つ。	12ヶ月
3	4	民生委員など運営推進会議に出席をお願いしたが断られた経緯がある。また、家族も出席できるメンバーが決まっている為、いつも同じ顔ぶれになってしまい、マンネリ化している。	区長だけでなく、民生委員や老人会の方にも出席して頂く。いつも来られない家族にも、都合をつけて出席して頂く。	区長に働きかけ、民生委員や老人会の方にも出席をお願いする。仕事でなかなか出席できない家族には、時間や日程を調整するなどして出席して頂く。	12ヶ月
4	11	職員の入れ替わりが少ない為、職員同士の仲が良く、自由に意見交換が出来る関係性が築けているが、今後職員の入れ代わりなどを想定すると、職員の意見等を定期的に聴取できるシステム作りをしたほうが良い。	新しく入ってきた職員でも、意見を言えるような環境を作る。	施設長、管理者が定期的に個別に意見を聞く機会を設ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の横については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。